

05.9.8 一新塾名古屋勉強会定例会

日時：2005年9月8日 19:00-21:30

場所：名古屋ボランティア・NPOセンター

参加：加部、岡野、百田、森、大藪、近藤（記）

内容：以下参照

1) 納税者権利プロジェクト（近藤）

9月4日、中日新聞に1万円の内訳記事が記載された経緯等を説明、その後10日に行う選挙投票率アップ&納税者権利プロジェクトの一環として行う街頭でのアンケート調査活動の詳細説明、以下決定事項を明記

アンケート調査場所 万博会場出入り口 AM8:00~AM10:00

名駅（ななちゃん人形前）AM11:00~PM1:00

アンケート部数 500部用意

アンケート調査参加者予定者 岡野 大藪 百田 宮田 近藤

予算解体新書進捗状況

現段階での調査済み市町村は下記の通り

東海市、安城市、犬山市、扶桑町、大口町、四日市市、岐阜市、豊田市、中津川市、小牧市

瀬戸市、市川市、八千代市、横浜市

その他現在依頼中のものが多数あり

2) 選挙投票率アッププロジェクト（百田）

瀬戸市での活動

瀬戸市のせとものまつりに合わせて選挙投票率アップ作戦（選挙セール）を企画し、大学教授（木村氏）に協力依頼をお願いしたがよい返事をいただけなかった（百田）

小牧市での活動

商工会の知人に選挙セールの依頼、協力依頼を頂けたので、選挙セール参加店舗を個別に依頼し8件のお店から承諾を得る。中日新聞近郊版に参加店舗の一覧の書いたホームページアドレスを記載していただくことと、参加店舗の店頭で選挙セールのビラを貼っていただくことで宣伝をすることにした。ただ、今回の方法では市民への普及活動が十分とはいえないので今後普及活動を加速させる必要がある。以下普及活動等のアイデアを記す。

リクルート等、地元版無料配布雑誌社へ依頼し選挙セール店舗の記事を載せてもらう

山下氏へお願いして議員との交流会等を企画しその中で選挙セールの話をする

準備期間をしっかりとれるようあらかじめ選挙の日程を把握し、一覧表を作成

公開討論会など他の活動との連携を図り相乗効果を狙う

選挙投票済み証に番号を振り、宝くじにする

3) マザーリーフプロジェクト（岡野）

マザーリーフの名前は葉っぱの名前から来ている、目的は女性が育児をしながら働ける環境を作ること、現在のメンバーは社労士、税理士など数名

10月に大和証券ビジネスモデルコンテストに応募予定、今後はワークショップなどを開催して、育児をしている女性などからヒアリング等を行い、より現状にあった事業計画を立てる。1年後を目処に企業予定

4) マニフェスト (宮田)

宮田氏がマニフェストをわかりやすくした〇×方式の各政党の比較表を作成、これは現在の各政党のマニフェストは争点がばらばらでわかりづらいのでそれを郵政民営化などいくつかのキーワードを儲けそれに〇×をつけて比較することで誰が見ても違いがわかるものを作り、判断の参考にしてもらおうというもの。ただ今回のマニフェストの場合、出口部分つまり国民へのサービス部分に焦点が集中し、入口部分（国民への負担）が見えにくいため、今後はこれらを踏まえ、キーワード、国民負担、国民サービスの三点をまとめたマニフェストを作成し、よりわかりやすいマニフェスト比較表を作成していく。

5) プレスリリース(加部)

今回は選挙前ということもあり新聞社各社の反応はよくなかったが、情報発信は重要であるので今後も時期を見て情報発信はしていく。